

ふかまのまど

第二九号 〇五年〇二月日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 六三三三八八二

町内会連合会活動報告

三原市民ビーチ

ボールバレー大会

小学生チーム二回戦進出

体育部長 秋本賢治

第二四回三原市民ビーチボールバレー大会が、一月十六日(日)、三原リージョンプラザで開催され、市内十七地区九十チーム(深町地区 六チーム、三二名)参加の熱気あふれる中で試合でした。試合は、九点三セットマッチ、トーナメント方式で行われました。



深小学生チームは一回戦快勝二回戦に臨みましたが、健闘むなしく敗れました。
選手の皆様には、練習から試合迄、大変ご苦勞をおかけしました。ありがとうございました。

深小だより

新春ふれあい広場



地域のみなさま、新春ふれあい広場の準備には多くの方に協力していただき、ありがとうございました。

みんなで力を合わせて作ったとんどが燃える時には、勢いがあって、熱が伝わってきて、とても迫力がありました。

朝は雨がふっていたので、できるかどうか心配でしたが、雨もあがって、レクリエーションや、もちやきをいっしょにできるとても楽しかったです。

みなさんが参加してくださり、楽しいひとときを過ごすことができました。

試合結果

一回戦
小学生男子 深2-0沼田東
女子 深2-0鷺浦
一般二〇才以上四〇才未満
男子 深0-2鷺浦
女子 深0-2三原南部
一般四〇才以上
男子 深0-2沼北
女子 深0-2三原南部

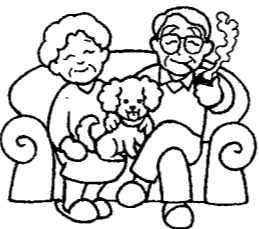
二回戦
小学生男子 深0-2三原南部
女子 深0-2幸崎

※各試合の点数はセットの勝数を示す

尚寿会だより

尚寿会会長 幸谷 満夫

一、新年会(一月二十日) 会員十九名(内男性七名)が九時半に深町を出発して十時にははらし温泉に到着しました。海や島を眺めながら各種の湯を楽しんだ後、十一時から団体用大広間に入り、会食しました。災害の多かった昨年を振り返りながら、今年一年の無事を願った。午後三時まで英気を養いました。



ふれあい広場参加

深小学校の新春ふれあい広場に、前日の準備と当日約十名の会員が参加しました。伝統の行事は子供達と共に年寄にも感激でした。行事の実施のためにご尽力頂いた若い方の力を頼もしく思いました。



今年もみんな元気で一生けんめいがんばります。
地域のみなさま、これからもよろしく願います。

児童会本部

女性会だより

音楽療法士の講演を聞いて

深町女性会 林 一恵

「音楽療法」という言葉はたびたび耳にしましたが、専門の先生から直接お聞きする機会はありませんでした。遠方の友達からも「是非とも聞いたほうが良いよ」と、連絡をもらい今回のチャンスに恵まれました。講師の高本恭子先生は、病院と学校で音楽療法士として活躍中です。



「音楽療法」とは、音楽を薬として、心身の機能を高め、障害も軽くするはたらきと聞きまされた。講演の間に九一〇曲位皆で歌を歌い、歌うと右脳が活発になるのか新鮮に先生のお話が耳に良く入ります。だんだん聞かせていただいているうちに私たちは、老いたり、病んだりした時、私たちの心の奥に残っていた、癒してくれるものは、音楽だと気づきました。

- ① 悲しいときは、悲しい音楽を聞いて自分を慰める。
- ② 落ち込みの激しいとき、先生は、中島みゆきの歌「時代」に救われた。
- ③ 田んぼに出て働くときは、トランジスタラジオを聞いて。
- ④ 物忘れがひどくなると、年齢にあった懐かしい音楽を聞かせてあげる。
- ⑤ 出来るだけ多くの人と活動する。

まだまだたくさんのお話をユーモアたっぷりの話術で私たちに音楽の世界へ誘ってくださいました。

※先月(一二八号)の女性会だより(料理講習会開催)で、一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

▲▲

謹んでお悔やみ申し上げます

三阪千代子様 八八才
(中組松尾講) 一月一日
西永隆夫様 八三才
(上組西側講) 一月二七日

深町各種団体二月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
- ▼英語活動 一日
- ▼冬季学園・豆まき 三日
- ▼冬季学園 四日
- ▼集金日 七日
- ▼びよびよハウス 八日
- ▼集金日 九日
- ▼参観日・教育講演会・貯金日 十日
- ▼英語活動 十五日
- ▼新一年生入学説明会・一日入園・新入園児保護者会 十八日
- ▼持久走大会 二十三日
- ▼テーマタイム発表会 二五日
- ◆女性会
- ▼親睦会 中 五日
- ▲上 六日
- ◆如水館
- ▼マラソン大会 五日
- ▼第二回中学入試 二十日

展望席

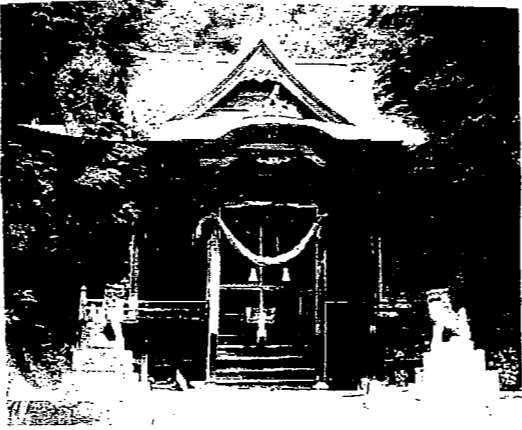
「梅一輪一輪ほどのあたたかさ」。この俳句は江戸中期の俳人・服部嵐雪の作品。きびしい寒さのなかに咲く一輪の梅の花に、ほのかな春の訪れを感じさせられます。作者の心の暖かさがこの一句に秘められています。日本人は昔から貧しい生活の中にも心暖かく、情け深く、情緒豊かに暮らしていたことでしょう。ところが、昔は情が大きく理が小さかったが、近頃は情が小さく理が大きくなった。そして過程より結果が重視されるようになり、世の中が荒んできた。と、「全国掃除に学ぶ会」会長の鍵山秀三郎さんが、先日ラジオで話しておられました。情の小さい「合理主義、能力主義、効率主義、結果重視」の研究の行き着く先は、結果(利益)を得る為に情け容赦なく手段を選ばぬ「振り込め詐欺、ヤミ金融、架空請求」になるのではないのでしょうか。彼らには情けのひとかけらも見つけることはできません。本当に情けない人間になっていきます。そんな彼らも、元々そんな人間ではなかったはず。結果(利益)のみを追求するあまり、いつの間にか人の心を失い、こんな人間になってしまったのでは? 日本人本来の心を失わないように、日々の生活の中で、結果に至るまでの過程(真心を持って努力をすること)や情を大切にしたいものです。「情に掉差せば流される」のも日本人の良いところかもしれません。

深の歴史こぼれ話(9)

千川神社社殿改築

中組 高崎 壽郎

平成一五年(二〇〇三)の暮、迎春準備のため、清掃していた千川神社(深八幡宮)の役員が、本殿内で二枚の棟札を見付けた。一枚は、社殿改築のもので、その内容は次の通りである。
大正一三年 宮司 山持明
氏子総代 梶谷作太郎・頼兼利
一・有延鶴松
世話人 乗兼素治他二九名
大工棟梁 乗兼庫吉
副棟梁 石井浦一
木挽棟梁 廣川初太郎
副棟梁 紙谷熊太郎
屋根師 賀村音吉
大工 平岡清人他一三名
木挽 西永京一他六名
屋根師以外は、みな深の人。
昭和三八年(一九六三)発行の深郷土誌によると、
社殿創建 元和二年(一六一六)
改築 貞享二年(一六八五)
享保五年(一七二〇)
文政一〇年(一八二〇)
同 大正一三年(一九一四)
同 大正一三年(一九一四)
の記録があり、貞享二年以外はおよそ百年に一度は改築してきた歴史がある。



千川神社(八幡宮)拝殿

棟札によると、大工一六名木挽九名で、村をあげての改築作業だったようだ。
今の社殿をみて、賀羅加波神社の金川禰宜(ねぎ)は、「深の社殿は、手間のかかる技術を駆使した立派なもの」と言われる。

深町の世帯・人口

	世帯	男	女	計
H. 6.12.31	304	442	480	922
H. 14.12.31	437	538	563	1,101
H. 15.12.31	439	542	564	1,106
H. 16.12.31	447	556	576	1,132

*三原市 町別人口集計表による

文政二年(一六一九)の芸藩通誌には、深の産物として、漢方薬で使う茵陳、木通、桔梗の草木の他に、松割物(丸太、板、貫)・栗丸太をあげている。
山深い深の里のこと、林業は大切な生業で、村内に大工や木挽が多かったことがわかる。今でも、簡単な大工仕事は上手に出来る人が多い。
余談だが、昔百姓一揆の際、深村は鋸を旗印にしていたと聞き伝えていた。
では、社殿改築の費用はどうしたのだろうか。
境内に「社殿改築寄附者芳名」の高額者の石碑が立っている。合計すると四千円弱になる。それに、氏子の浄財もある。
大正末頃は、千円もあると家が軒建つていたということ。これだけあると相応のものが出来る。金川禰宜は「現在でも、一億円ぐらいはかかるでしょう」と言われている。

寄附千円が二名あるが、いずれも大都会へ出て財を成された方である。多額の寄附は、昔流にいえば、「故郷に錦を飾った」ということでしょうか。
大正一三年(一九二四)の深の秋祭りは、古里を離れていた人も里帰りし、社殿(本殿、拝殿)改築の披露と、祝いの神楽や夜店などで、境内は終夜(よもすがら)賑わったことだろう。尚、もう一枚の棟札は、社殿改築二年後の神楽殿新築のものだった。

千川神社よりお知らせ

総代 西本 一二三

深町中組田屋講の船本輝明様が千川神社に木彫りの額を奉納して下さいました。「漫遊」の一刀彫りであります。
神楽殿に奉納してありますので神社参拝、お近くに行かれた時は是非拝観して下さい。

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内博満

暗雲を払うが如く新しき
朝は明けたり瀬戸の潮風
今年こそ億万長者と夢抱いて
年末ジャンボ購いて楽しむ
長けれど七十年は瞬く間
悔ゆる思いが
積み詰め込まれ

「やっさ工房」
神明市でバザー

やっさ工房 光野婦美恵

春のおとずれを告げる三原の祭り、神明市(十一日(金)十三日(日))が近づいてきました。
やっさ工房は、毎年バザーの出店をさせていただいております。



隆景広場の、ふれあいゾーンで三原市内の福祉施設が一同して出店しており、各施設、趣向を凝らしながら独自の自主作品を販売しております。
牛乳パックの再利用で作った手漉きはがき、革で作ったキーホルダー、サイフ等々のやっさ工房オリジナル品を販売しています。それぞれの工程を皆で力を合わせて、ひとつひとつ真心をこめて作りました。

作品作りを通して物を作る喜びとともに、売れた事に対して自信と勇気が湧いてきます。革作品を手にとり「あつ腕をあげたね!うまくなっているよ」と声をかけてくださったり、何気ない会話で私達は元気をもらいます。そんな地域の皆様とのふれあいを大切にしております。
今年も、また新しい出会いを楽しみにしております。どうぞ覗いてみてください。みんなでお待ちしております。

町内の皆さんにお礼

上組 久保 正則
孝也
幸子



一月十七日(月)に子犬の失踪について、情報を町内有線放送でお願い致しました。
皆様から沢山の情報をお知らせ頂いたおかげで、十八日(火)夕方、無事に見つける事ができました。半年以上育てますと、たかが犬でも、もう家族の一員です。今後は迷惑を掛けないようにしたいと思っております。
本紙をお借りして、町内の皆様に厚くお礼を申し上げます。

契約トラブルの
解決のために(10)

広島県生活センター

082-2223-6111

ニクリーニング・オフについて
6. トラブル事例とクリーニング・オフ
○ 消化器点検ということでもセーブルスマンが来訪した。留守番をしていた母が、言われるままに消火器を渡したら、薬剤を詰め替えられ、代金として七、五〇〇円を請求された。どうすればよいか。
(答) 消火器用薬剤は、指定商品です。クリーニング・オフ期間内であれば、当然にクリーニング・オフの対象になります。



○ 家の前で日用品などを無料配布していた。
「早く来ないとなくなる」と言われ、その場所に行ってみたら、色々な品物をくれた後、指圧器の説明があり「足腰が治る」と言われたので、八万円を現金で支払った。
(答) 現金で購入した場合でも、三千円以上であれば、クリーニング・オフは可能です。

投稿歓迎

「ふかまのまど」へ、楽しい話題、取っておきの情報、趣味、詩、体験談、深町活性化への意見など幅広く町内の皆様の投稿をお待ちしています。
なお、他人を誹謗中傷するもの、政治色・宗教色が強いもの、営利目的のもの、公序良俗に反するもの等はご遠慮ください。原則として実名で掲載させて頂いていますが、特に匿名を希望される場合はその旨を編集室(紙谷)へご連絡ください。

まずは、編集室(紙谷)へ
電話63-3882へ一報
ください。